

地域のボランティア団体とのふれあい



写真はすずめの会と健康応援団の方との交流の様子(備中デイサービスセンター)

平成29年度決算報告および実施事業…2～3頁

平成29年度会費・寄附金財源事業…4～5頁

私の町のふくし人 Vol.14…6頁

お助け隊派遣事業…7頁

平成29年度一般募金助成金交付…8頁

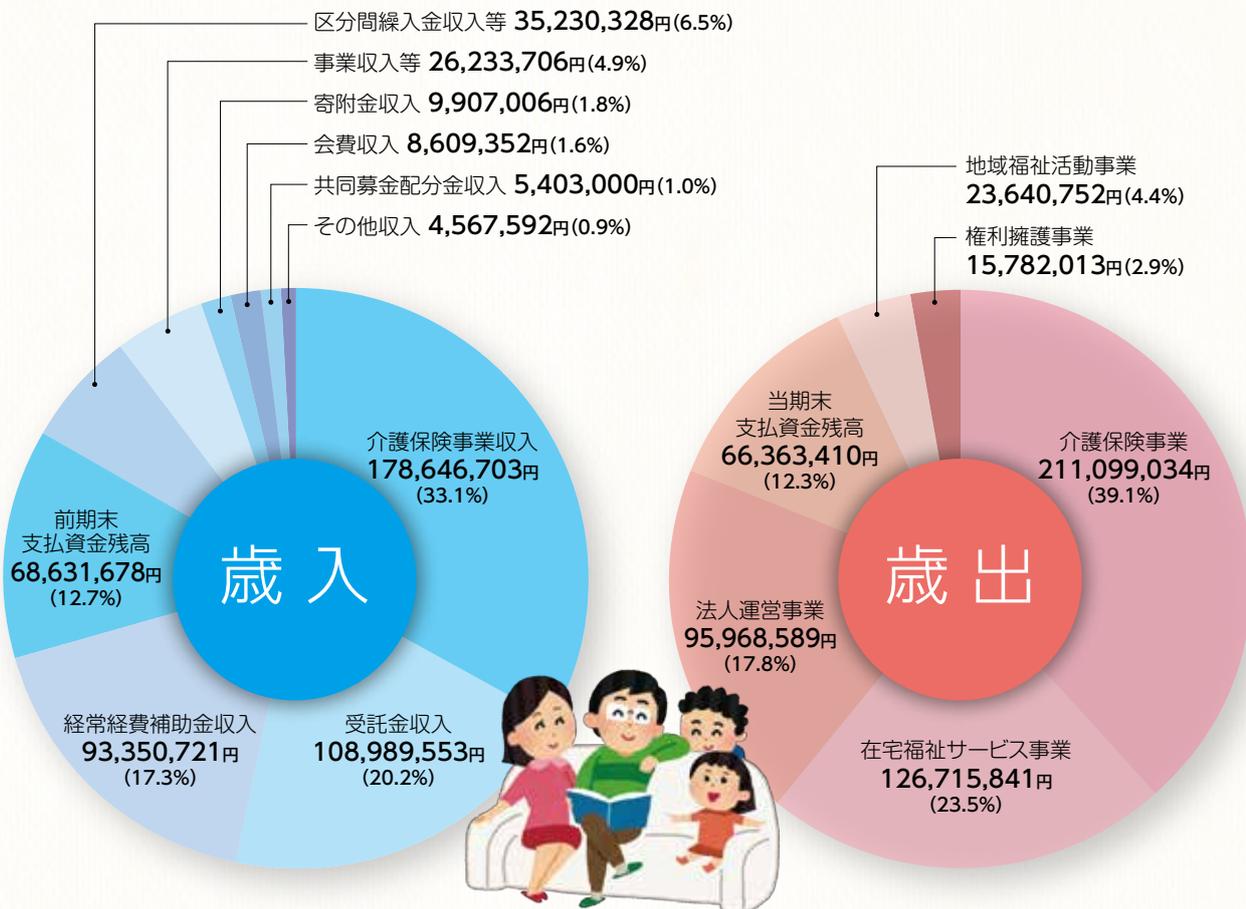
お知らせ…9～10頁

寄附者一覧、編集後記…11～12頁

平成29年度 決算報告

平成30年5月28日に理事会、平成30年6月14日に評議員会を開催し、平成29年度の事業報告、社会福祉事業・公益事業決算などが承認されました。平成29年度の決算については次のとおりです。

社会福祉事業 >> **539,569,639円**



会費収入8,609,352円の内訳

社会福祉協議会賛助会員会費 8,219,352円
福祉移送サービス会員会費 390,000円

その他収入の内訳

貸付事業等収入 325,140円
負担金収入 1,762,238円
受取利息配当金収入 651,544円
固定資産売却収入 13,520円
雑収入 1,815,150円

公益事業 >> **113,484,364円**

事業名	歳入	歳出
シルバー人材センター事業	89,586,323	89,586,323
総合福祉センター事業	23,898,041	23,898,041

財産目録

(社会福祉事業・公益事業)

資産の部	
科目	金額
1. 流動資産	111,539,041
①現金	280,000
②預金	36,890,498
③未収金	74,344,770
④前払金	23,773
2. 固定資産	434,967,714
①基本財産	100,290,608
②その他固定資産	334,677,106
資産合計	546,506,755

負債の部	
科目	金額
1. 流動負債	32,179,933
①未払金	25,870,561
②預り金	5,804,163
③前受金	475,000
④仮受金	30,209
2. 固定負債	0
負債合計	32,179,933
差引純資産	514,326,822

平成30年3月31日現在 (単位:円)

平成29年度の主な実施事業について

高梁市社会福祉協議会の基本理念である「みんなでつくる いきいきと暮らせる愛のまち たかはし」～ささえあい・たすけあいのまちづくり～を実現するため、1. 地域で活躍できる人づくり、2. 手と手をつなぐ地域づくり、3. 地域を支える環境づくり、4. 安心して暮らせる体制づくりの4つの基本目標を掲げ各種事業に取り組みました。

在宅福祉サービス事業

決算額 126,715,841円

主な事業(内容)

- 高梁市から次の事業を受託し実施しました。
 - 敬老事業
 - 福祉移送サービス事業
 - ちょこっとお助けサービス事業
 - 健やか高齢者生きがい支援事業
 - 給食サービス事業
 - 寝具洗濯乾燥消毒事業
 - 生活支援体制整備事業平成29年4月から施行された介護予防・日常生活支援総合事業の体制整備を進めるため、各地区社協へ「第2層協議体」を設置し、地域の社会資源や、福祉課題の整理に努めました。
- 高梁市遺族連合会への事務支援
- 川上保健センターの維持管理

地域福祉活動事業

決算額 23,640,752円

主な事業(内容)

- ふれあいのまちづくり事業
福祉委員活動・地区社会福祉協議会の支援など
- 地域福祉活動推進事業
地域福祉活動計画の推進等(計画の評価委員会を開催し、事業や数値目標の見直しを図りました)
- 福祉活動助成事業
- 老人福祉事業
- 障害児・ひとり親・児童福祉事業
- 災害福祉活動事業
- 一般募金助成事業
市内の福祉・ボランティア団体等40団体へ助成しました。
- 歳末たすけあい支援事業
在宅要介護者及び難病の方273名へ歳末慰問金ならびに、地域福祉活動の実施団体等に助成金を支給しました。
- ボランティアセンター活動事業
- 地域福祉活動基金

法人運営事業

決算額 95,968,589円

主な事業(内容)

- 理事会、評議員会等の各種会議の開催
- 会員制度の広報および普及による自主財源の確保
- 事務効率の向上および経費削減のための事務改善
- 「ふれあい福祉」の発行
- ホームページの更新
- 社協会長表彰
- 地域における公益的な取り組み
市内の10社会福祉法人で法人連絡会を結成し、共同で「生活困窮者に対する緊急食料支援」や「ひきこもりや障害者等の社会参加支援」を実施しました。

権利擁護事業

決算額 15,782,013円

主な事業(内容)

- ふれあい相談事業
- 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)
- 自立相談支援事業
高梁市生活あんしんサポートセンター事業の一部を高梁市から受託し、生活困窮者が抱える多様な複合的な問題に対して、状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施しました。
- 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)
- 福祉資金貸付事業

介護保険事業

決算額 211,099,034円

主な事業(内容)

- 居宅介護支援事業…介護サービスのケアプラン作成及び認定調査
- 訪問介護事業…ホームヘルプサービス
- 訪問入浴事業…入浴車による入浴サービス
- 通所介護事業…デイサービス
- 認知症対応型共同生活介護事業
…(グループホームささゆり苑)
- 介護予防、日常生活支援総合事業

これらの事業は皆さまからいただきました浄財によって支えられています

平成29年度の賛助会員会費収入を財源とした事業の総額は8,931,571円でした。うち、会費収入は8,219,352円です。差額712,219円については繰越金を充当しています。



会費を財源とした事業

ふれあいサロン事業

地域で安心していきいきと生活を送れるよう「ふれあいサロン」団体に助成し、孤立や閉じこもり防止等の活動を支援しました。



125団体に助成

ふれあい福祉講座

地域住民が福祉に対する理解を深め「ささえあい・たすけあいの福祉のまちづくり」を推進することを目的に、福祉委員等の研修の場として開催しました。



参加者約700名

- 福祉委員手引きの作成等
- 障害者スポーツ大会等の運営等に対する助成

- ふれあい福祉の発行

- 災害見舞金の支給
火災・災害見舞10件

災害福祉活動事業
380,000円 (4.2%)

企画広報事業
559,053円 (6.3%)

福祉活動推進事業
839,385円 (9.4%)

福祉活動助成事業
4,447,213円 (49.8%)

敬老事業
2,087,357円 (23.4%)

その他の事業
314,991円 (3.5%)

ボランティアセンター活動事業
303,572円 (3.4%)

敬老事業

永年にわたり地域の発展に尽力された高齢者の長寿を祝う敬老会に助成し、敬老意識の高揚を図るとともに、地域の絆づくりを推進しました。



62団体に助成

ボランティア協力校

市内の小・中学校をボランティア活動普及事業協力校に指定し、体験学習やボランティアの実践活動を行い、ボランティア活動の推進と普及を図りました。



指定校10校

ボランティア活動保険料の助成

市社協ボランティアセンターに登録し、活動を行っているボランティア団体へボランティア保険料の一部を助成しました。

39団体に助成

本年度も皆さまからのご寄附や賛助会員会費を財源に各種事業を推進してまいります。賛助会員会費につきましては福祉委員の方々のご協力をいただき、市民の皆さまへご協力をお願いしております。会員制度の趣旨をご理解いただき、賛助会員会費へのご協力をお願いいたします。

平成29年度も賛助会員会費へのご協力、 またご寄附ありがとうございました

寄附金を財源とした事業

地区社会福祉協議会 活動費の交付等

それぞれの地域に根差した福祉活動を展開するため、市内全14地区社協に活動費を交付するとともに活動の支援をしました。



視察研修で他地区の取組みについて勉強

敬老祝い品贈呈事業

米寿を迎える方を対象に、長寿のお祝いとして肖像写真を贈呈しました。



贈呈者275名

● 身体の虚弱な高齢者等へ、車いす等を無料で短期貸し出しを行いました。



● その他、福祉団体活動助成、福祉資金貸付事業など

ふれあいのまちづくり事業

6,032,618円
(60.9%)

企画広報事業

1,364,193円
(13.8%)

敬老事業

1,144,337円
(11.5%)

その他の事業

365,625円
(3.7%)

福祉活動推進事業

563,628円 (5.7%)

ボランティアセンター活動事業

436,605円 (4.4%)

ふれあい福祉の発行

市民の皆さんに福祉の情報をお届けするため、年6回広報紙を発行しました。



地域社会福祉功労表彰

地域福祉に対する功績のあった個人及び団体を表彰しました。なお、大会の部において市社協会長表彰を行いました。

個人10名および2団体を表彰

健康福祉のつどい

健康福祉の認識を一層深め、すべての人々が健康で心豊かに生活できるよう、市との共催により開催しました。



福祉座談会の開催

住民が住み慣れた地域での生活、福祉課題を把握し、社協活動への理解を深めるために、福祉座談会を開催しました。

夏のボランティア体験事業

市内の中・高・大学生を対象に、ボランティア活動に参加する機会を提供し、ボランティア意識の高揚を図りました。



ボランティア研修会

ボランティアに関する知識と関心を高めるとともに、地域住民が一人丸となった地域づくりについて学ぶために開催しました。

参加者222名

私の町の
ふくしVOL.
14

ふくしとは、

- ① ふつう (普段) の
- ② 暮らしが
- ③ 幸せであること。

とされています。

このコーナーでは、そんな福祉のまちづくりのために地域で頑張っておられる方を紹介していきます。



kimie morino

森野 公恵さん

私たちの町津川町は、高梁川に沿って伯備線と国道180号線、その高梁川にそぐ有漢川の流れと共に国道313号が走っています。この国道沿いにつながる場所に集落が点在しています。私たちの町も少子高齢化が進み、地域のつながりや人と人との交流が薄れてきています。

こうしたなか、家に1人でいるより少しでも元気で出かけて楽しいひとときを過ごしていただけのように、ミニデイサービス「津川げんき会」を年11回行っています。毎回プログラムにも工夫を凝らし、先日は、文化祭に展示するための陶芸などの作品づくりを行いました。また、この会の運営には料理を作ったり、送迎をしてくださるたくさんの方のボランティアが携わっており、皆さんの頑張りで成り立っています。

この会は月に1回の開催であるため、より多くの方がもっと気軽に集まって交流を図れるよう、今春「ほっとカフェつがわ」を立ち上げました。カフェは第2・第4水曜日の9時30分から11時30分まで津川総合会館で行っており、「おいしいコーヒーはいかが100円です」と、のぼりと看板を出してお待ちしています。皆さんも楽しい会話やロコモ予防体操で体をほぐしにお立ち寄りください。

また、今年は2年に1度の敬老会も開催します。長年地域を支えて下さった方の

長寿をお祝いし、私たちの先輩に感謝したいと思っています。

このような活動が出来るのは地域の皆さんのご協力があったからこそと感謝しております。小さな幸せが大きな幸せにつながるよう、これからも地域の皆さんと力を合わせて頑張りたいと思っています。



「お互い様の活動」が広がっています!!

お助け隊派遣事業



市社会福祉協議会では、各地区社会福祉協議会を範囲に、地域の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の生活課題や困りごとについて、地域住民が相互に協力し解決に向けて取り組む「お助け隊派遣事業」を推進しています。



Q お助け隊はどのような活動をしてくれますか？

A 活動内容は各地区社会福祉協議会によって異なります。現在、お助け隊を組織されている地区は次のとおりです。

平成30年6月末現在

地区	名称	主な活動内容	利用料	連絡先
津川	津川お助け隊	・ゴミだし ・買い物代行 ・室内の軽微な作業など ※詳細は各地区社会福祉協議会へお尋ねください。	300円/30分程度	22-2169
川面	川面町“おたがいさま”お助け隊の会		300円/30分程度	26-0001
巨瀬	スケッチこせ		300円/1時間未満	25-0001
中井	中井町ちょこっとお助け隊の会		300円/30分程度	28-2001
玉川	玉川にここにこお助け隊		300円/30分程度	22-2901
宇治	宇治町お助け隊		300円/1時間未満	29-2001
松原	松原助け愛隊		300円/1時間未満	26-1001
高倉	高倉地域の福祉を育てる会お助け隊		300円/30分程度	26-0059
川上	お助け隊かわかみ		300円/30分以内	48-9770

※いただいた利用料は各地区社会福祉協議会の財源として、地域の福祉事業に使われます。

活動報告



利用者の声

今回、初めてお助け隊を利用しました。2階の窓拭きやといの掃除など、出来ない部分を気持ちよく作業してくださって、とても助かりました。地元の人がしてくれるので安心して頼めました。ありがとうございます。





平成30年度一般募金助成金交付

高梁市社会福祉協議会では、高梁市共同募金委員会から昨年度の赤い羽根共同募金を基に配分を受け、37団体へ2,634,000円を交付しました。

助成金交付団体は次のとおりです。



ボランティア活動団体

5
団体

- ★落合ひまわり会
- ★有漢町ボランティアあじさいの会
- ★子育てサポーター(ゆーほー)
- ★子育てボランティアうぐいす
- ★備中町ヘルスボランティア連絡会

高齢者・障がい者・児童福祉活動団体等

18
団体

- ★高梁地域老人クラブ
- ★有漢地域老人クラブ
- ★成羽地域老人クラブ
- ★川上地域老人クラブ
- ★備中地域老人クラブ
- ★高梁市身体障害者福祉協会有漢分会
- ★高梁市身体障害者福祉協会成羽分会
- ★高梁市身体障害者福祉協会川上分会
- ★高梁地域民生委員児童委員協議会
- ★有漢地区民生委員児童委員協議会
- ★成羽地区民生委員児童委員協議会
- ★川上地区民生委員児童委員協議会
- ★高梁市川上町親子クラブつくし会
- ★高梁小学校 ことばを育てる親の会
- ★高梁市子ども会連合会
- ★ぶどうの会
- ★有漢地域母親クラブ
- ★成羽母親クラブ つくしの会

地区社会福祉協議会

14
団体

- ★高梁地区社会福祉協議会
- ★津川地区社会福祉協議会
- ★川面地区社会福祉協議会
- ★巨瀬地区社会福祉協議会
- ★中井地区社会福祉協議会
- ★玉川地区社会福祉協議会
- ★宇治地区社会福祉協議会
- ★松原地区社会福祉協議会
- ★高倉地区社会福祉協議会
- ★落合地区社会福祉協議会
- ★有漢地区社会福祉協議会
- ★成羽地区社会福祉協議会
- ★川上地区社会福祉協議会
- ★備中地区社会福祉協議会



皆さまからお寄せいただいた募金は、地域の福祉活動に役立てられています。

**敬老事業の助成交付
申請を受付しています**

永年にわたり地域の発展に尽力された高齢者を敬愛し長寿を祝う敬老事業（敬老会）に対し、助成を行います。

助成金の交付を希望される団体等は、地域福祉課および各支所、各地域市民センターで申請手続きをお願いします。

※必ず開催前に申請をしてください。

▼対象事業

本年9月から11月末日までの期間内に実施する敬老会。

ただし、現金や記念品等の贈呈のみの事業は除きます。

▼対象者

平成30年8月1日現在で市内に住所を有し、平成31年3月31日までに満75歳以上になる方

▼助成金の交付額

対象者のうち、敬老会に参加された方1人当たり1,500円を助成

※この他に、敬老会実施地域内の在宅の方で満88歳（昭和5年4月1日）昭和6年3月31日の間にお生まれの方）を迎えら

れる方1人当たり1,500円を助成

▼支給要件

①複数の敬老事業で対象者が重複した場合は、1回のみ支給対象となります。

②実施区域は、町内会単位以上の規模での実施

③実施主体は、地域住民の創意工夫により、さまざまな地域内の団体・グループ等を対象

ふれあい相談



★福祉総合相談

毎週月～金曜日

（祝日を除く）

午前8時30分～

午後5時15分

※随時相談に応じます。

また、プライバシーは完全に守られます。お気軽にご声かけ。

高梁市シルバー人材センター 会員募集!

あなたの豊かな経験と知識を生かしてみませんか!

○シルバー人材センターとは

「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、「臨時的かつ短期的、またはその他の軽易な業務」を提供するとともに、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通して、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と活性化に貢献しています。希望と能力に応じた働き方ができます。

○会員募集中!

高梁市内に在住するおおよね60歳以上の働く意欲のある健康な方であればどなたでも入会できます。

○作業内容について

草刈り、草取り、清掃、植木の剪定、墓地清掃等、発注者の依頼により、作業をお受けしています。（ただし、急傾斜地の草刈りや高所作業などの危険が伴う作業は、お受けできない場合があります）*詳しくは、シルバー人材センターへお問い合わせください。



草刈り作業中の写真

問い合わせ先

- 高梁地区 ☎22-7243
- 有漢地区 ☎57-3218
- 成羽地区 ☎42-2005
- 川上地区 ☎48-9770
- 備中地区 ☎45-3131

法人の皆さまへ

～ 皆さまのご協力が高梁市の福祉のまちづくりに繋がります ～

賛助会員会費については、本紙の4ページに掲載していますが、市民の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「ふれあいサロン事業」や「敬老事業」など地域の絆を深める活動やボランティア活動の普及に関する事業、火災や土砂災害等で被害のあった世帯に対する見舞金等に活用されており、ささえあい・助けあいのまちづくりを推進していく上で貴重な財源となっております。

本年度も引き続き賛助会員（法人会員）を募っておりますので、会員制度の趣旨をご理解いただき、会費のご協力をお願いいたします。

【賛助会員】
法人会員 1口 3,000円
市内の法人（事業所を含む）

平成29年度は255の法人に
ご協力をいただきました。
ありがとうございました。



熱中症

ヘルパーからの健康情報

にご注意ください！

こんな症状があったら熱中症をうたがみましょう



めまい・立ちくらみ



頭痛・吐き気



大量の発汗

・筋肉痛、足がつる、筋肉のけいれん ・体温が高い、皮膚が赤いなど

熱中症の予防には水分補給と暑さを避けることが大切です

◇部屋の温湿度を調節しましょう

エアコンを使用したり、窓を開けて風通しをよくしましょう。

◇こまめな水分補給を心掛けましょう

体に必要な水分の補給を我慢することは危険です。また汗をかいた時は、適度な塩分補給も必要です。

◇暑い時は無理をしないようにしましょう

高齢者や幼児、体調の悪い人は特に注意しましょう。

社会福祉協議会へのご寄附

ありがとうございました。

平成 30 年
5月～6月

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ平成 30 年 5 月と 6 月にいただいたご寄附についてお知らせします。
心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。
なお、金額等については寄附者の意向によって掲載しています。
(敬称は略させていただきます。)

【香典・玉串料・御花料返し】

《高梁支会》

《高梁地区》

金一封 倉敷市 清水 義治

(故・春枝様)

金一封 松原町 東 修

(故・育雄様)

金一封 吉備町 尾嶋 政江

(故・黒川史郎様)

金一封 落合町 山川 光男

(故・あや子様)

金一封 落合町 福森 豊

(故・さだこ様)

金一封 落合町 福本 健一

(故・須賀恵様)

金一封 松山 須山 豊松

(故・君恵様)

金一封 下谷町 松井 義和

(故・清様)

金一封 内山下 亀飼 義昭

(故・克巳様)

金一封 落合町 上田 洋士

(故・福治様)

金一封 津川町 福田 克己

(故・一二三様)

《津川地区》

金一封 津川町 福田 克己

(故・一二三様)

《川面地区》

金一封 川面町 青野 学而

(故・美乃里様)

《巨瀬地区》

金一封 巨瀬町 上森 清司

(故・衛様)

金一封 巨瀬町 岡崎 勇

(故・兵衛様)

《中井地区》

金一封 中井町 山根 誠之

(故・恭子様)

金一封 中井町 片山 繁

(故・照様)

金一封 中井町 植田 康夫

(故・三津子様)

《玉川地区》

金一封 玉川町 中村 正義

(故・昭子様)

金一封 玉川町 山本 享道

(故・千代子様)

金一封 玉川町 石田 彰

(故・公枝様)

《宇治地区》

金一封 宇治町 下中 廣子

(故・哲朗様)

《松原地区》

金一封 松原町 東 修

(故・育雄様)

金一封 松原町 佐棟 浩禎

(故・照子様)

《高倉地区》

金一封 高倉町 伊達 栞

(故・信夫様)

《落合地区》

金一封 落合町 山川 光男

(故・あや子様)

金一封 落合町 福本 健一

(故・須賀恵様)

金一封 落合町 上田 洋士

(故・福治様)

《有漢支会》

金一封 上有漢 渡辺 弘幸

(故・久子様)

金一封 上有漢 湯浅 健市

(故・タカ子様)

金一封 有漢 松田 圭司

(故・野瀬陽子様)

金一封 有漢 藤井 静夫

(故・房様)

金一封 有漢 森脇 恵子

(故・壽恵様)

金一封 浜町 吉田 勇

(故・さか江様)

《成羽支会》

金一封 佐々木 川上日出子

(故・敏晴様)

金一封 下原 浅野 喬

(故・晃様)

金一封 下原 長谷川 進

(故・幸江様)

金一封 下日名 齋藤 貞典

(故・育治様)

金一封 星原 大田 瑞枝

(故・平松武雄様)

金一封 下日名 川上 清紀

(故・喜平様)

金一封 下原 土谷 宇市

(故・恭子様)

金一封 成羽 難波 富子

(故・嘉平太様)

金一封 岡山市 吉村 啓治

(故・昭様)

金一封 小泉 土谷 正明

(故・和子様)

《川上支会》

金一封 仁賀 榎井 常子

(故・忠様)

金一封 地頭 曾川 晃

(故・周平様)

金一封 地頭 古米 裕治

(故・文子様)

金一封 地頭 森 直樹

(故・富重様)

《備中支会》

金一封 東油野 嶋池 角夫

(故・典子様)

金一封 平川 川谷富美恵

(故・貞夫様)

金一封 平川 延岡三枝子

(故・一女様)

金一封 布賀 岡崎三喜雄

(故・壽満子様)

【一般寄附】

《高梁支会》

《高梁地区》

金一封 匿名

(社会奉仕として)

第408回、第409回目

金一封 南町 谷本 明久

(旭日小綬章に対して)

《川上支会》

金一封 下大竹 山内 敬子

(退院内祝いとして)

《備中支会》

金一封 布賀 古米 恒夫

(退院内祝いとして)

金一封 東油野 嶋池 角夫

(典子様の見舞い返しとして)

金一封 西山 嶋村 太郎

(退院内祝いとして)



お詫び
第79号(5月15日発行)において誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

12ページ

【香典・玉串料・御花料返し】

(誤)

《備中支会》

金一封 布賀 福嶋 貞枝

(故・平様)

(正)

《備中支会》

金一封 布賀 福嶋 貞恵

(故・平様)

編集後記

7月に入り暑さが厳しくなってきました。ムシムシとした暑い夏はつらいですが、その四季ならではの自然や食の楽しみを見つけ、ささやかな幸せを感じたいと思います。

さて、今号では、昨年度の主な実施事業と決算報告と併せて、皆さまからご協力いただいた賛助会員会費および寄附金を財源とした事業について掲載しています。

賛助会費に関しては、地域で安心していきいきと生活を送れるような効果を期待できる集いの場「ふれあいサロン」や、高齢者の長寿を祝う「敬老事業」などに活用させていただきました。

寄附金については「横の連携」を密にし、互いに励まし支えあう福祉のまちづくりを推進するための活動費等に活用しています。

また、地域住民の生活課題や困りごとについて、地域住民が相互に協力し解決に向けて取り組む「お助け隊派遣事業」を推進しており、活動内容を紹介しました。この活動の輪が広がっていくよう支援等に努めてまいります。思います。(K)



この広報紙は、寄附金の一部を活用して発行しています